

法人税の達人(平成21年度以降)

from弥生会計(Ver.32.0.1以降) 運用ガイド

この度は、「法人税の達人(平成21年度以降) from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「法人税の達人(平成21年度以降) from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」は、弥生株式会社の「弥生会計」の会計データを「法人税の達人」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「法人税の達人(平成21年度以降) from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1. 対応製品	3
2. 動作環境	4
3. インストール方法	5
1. 「達人 Cube」からアップデートする場合.....	5
2. 「達人」オフィシャルサイトからファイルをダウンロードする場合.....	9
4. 運用方法	11
1. 「弥生会計」と「法人税の達人」を同一コンピュータにインストールしている場合.....	11
2. 「弥生会計」と「法人税の達人」を別のコンピュータにインストールしている場合.....	12
5. 操作方法	13
1. 「弥生会計」と「法人税の達人」を同一コンピュータにインストールしている場合.....	13
2. 「弥生会計」と「法人税の達人」を別のコンピュータにインストールしている場合.....	21
6. 連動対象項目	30
「弥生会計」から連動するデータ（連動元）	30
「法人税の達人」に連動するデータ（連動先）	32
貸借対照表.....	34
損益計算書.....	35
製造原価報告書.....	36
株主資本等変動計算書等.....	37
入力用帳票〔六（一）・八（一）〕	39
別表十四（二）	40
別表十五.....	41
7. アンインストール方法	42
8. 著作権・免責等に関する注意事項	43

1.対応製品

「法人税の達人（平成21年度以降）from弥生会計（Ver.32.0.1以降）」に対応するNTTデータの対応製品及び弥生の対応製品は以下のとおりです。

会社名	対応製品
株式会社 NTT データ	法人税の達人（令和07年度版）Professional Edition
	法人税の達人（令和07年度版）Standard Edition
弥生株式会社	弥生会計 26 AE
	弥生会計 26 スタンダード
	弥生会計 26 プロフェッショナル
	弥生会計 26 プロフェッショナル 2ユーザー
	弥生会計 26 ネットワーク



注意

本書は、出版時点での最新プログラムの画像を使用しています。

2.動作環境

「法人税の達人（平成21年度以降）from弥生会計（Ver.32.0.1以降）」に必要な動作環境は「1.対応製品」（P.3）に記載の弥生株式会社の【対応製品】と同様です。



注意

「法人税の達人（平成21年度以降）from弥生会計（Ver.32.0.1以降）」のプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」（P.3）に記載の弥生株式会社の【対応製品】のいずれかをインストールしている必要があります。

3.インストール方法

「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」オフィシャルサイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。

1.「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



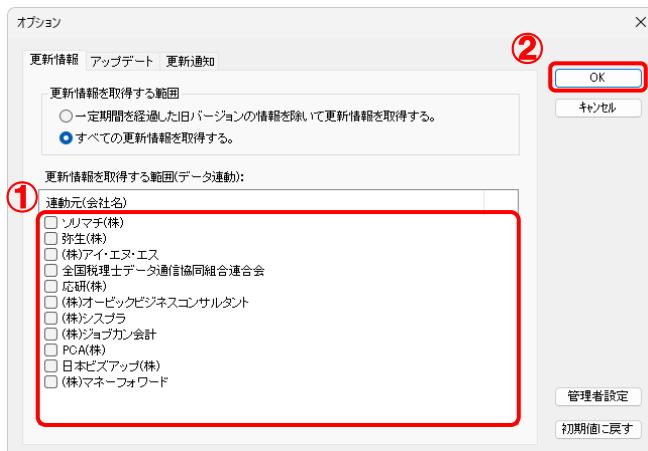
[アップデート] 画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け①)、[OK]ボタンをクリックします②)。



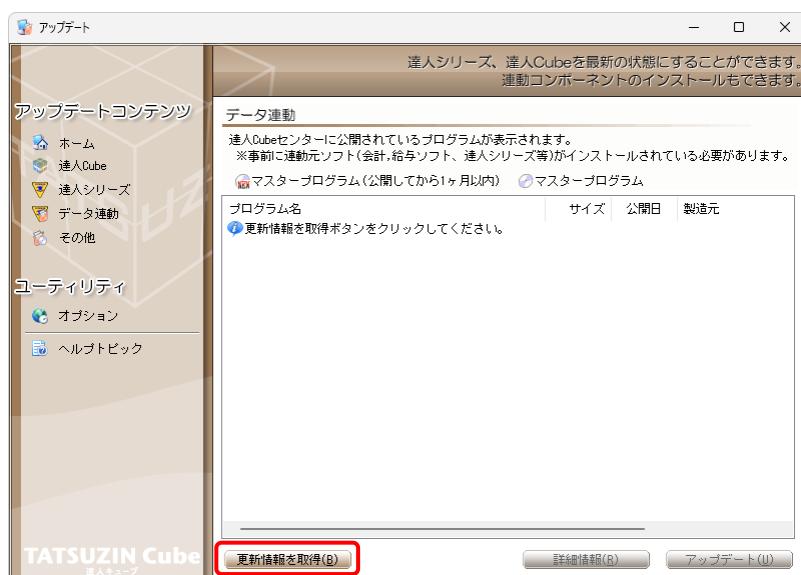
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



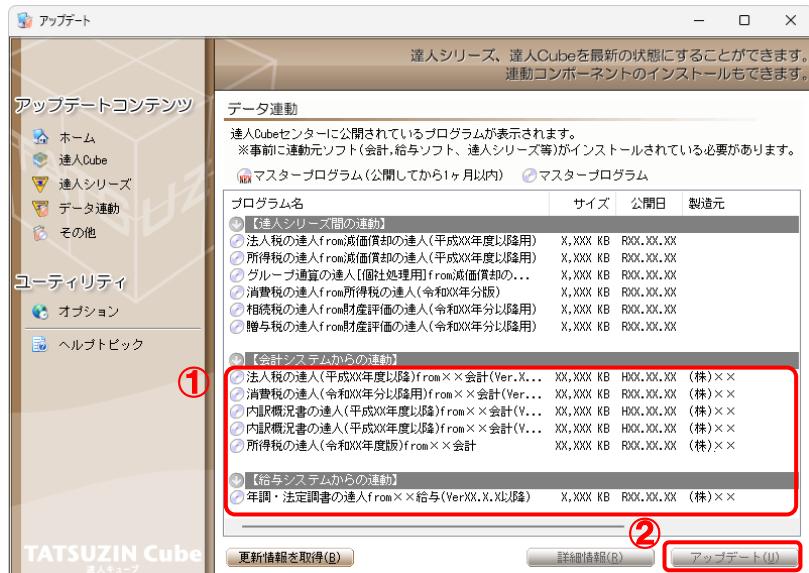
[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

7. [はい]ボタンをクリックします。

[弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されます。

8. [インストール開始]ボタンをクリックします。

[使用許諾契約] 画面が表示されます。

9. 使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します。]をクリックしてチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の選択] 画面が表示されます。

10. [次へ]ボタンをクリックします。

[プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。

11. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

12. [弥生シリーズセットアップ]画面に戻るので、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」のインストールは完了です。

2.「達人」オフィシャルサイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動コンポーネントダウンロードページ

(https://www.tatsuzin.info/rendousoft/rendou_download.html)を開きます。

The screenshot shows the 'Tatsuzin' official website with the following details:

- Header:** NTT DATA logo, 'Tatsuzin' logo, and '税務申告ソリューション「達人シリーズ」'.
- Top Navigation:** 達人シリーズ, 達人トータルサポート, 操作サポート, 導入事例, ご購入, ご購入にあたって, パートナー.
- Breadcrumbs:** HOME > 達人シリーズ > 会計ソフト・給与ソフトとの連動
- Left Sidebar:**
 - 達人シリーズ
 - 製品ラインナップ
 - 申告書作成ソフト
 - 申告書作成ソフト
カスタマイズオプション
 - 達人Cube
 - 会計ソフト・給与ソフトとの
連動
 - 動作環境
 - ご利用料金表
 - ダウンロード
 - 90日無料体験版
 - パンフレット
 - データ連動
 - セミナー情報
 - 個別説明会
お申し込み
- Main Content:**
 - 会計ソフト・給与ソフトとの連動**: A section explaining the integration between accounting and payroll software.
 - 「達人シリーズ」の連動とは?**
 - 連動メーカー紹介**
 - 連動コンポーネントダウンロード** (Red button)
 - 申告書作成ソフト**: A list of software types supported for integration.
 - 法人税の達人**: A section for the 'Corporate Income Tax Tatsuzin'.
 - ①連動コンポーネントの利用**: Instructions for using the integration component.
 - ②インポート機能の利用**: Instructions for using the import function.
 - インポート機能の詳細はこちら >**

2. 該当の「達人シリーズ」のソフト名をクリックします。

該当の会計・給与ソフトメーカー一覧画面が表示されます。

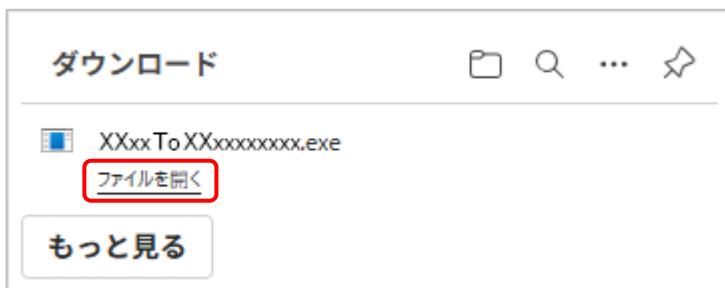
3. 該当の会計・給与ソフトメーカーの[ダウンロード]をクリックします。

該当の会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。

4. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。

画面の右上に [ダウンロード] 画面が表示されます。

5. [ファイルを開く]をクリックします。



[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

6. [はい]ボタンをクリックします。

[弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されます。

7. [インストール開始]ボタンをクリックします。

[使用許諾契約] 画面が表示されます。

8. **使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します。]をクリックしてチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。**

[インストール先の選択] 画面が表示されます。

9. [次へ]ボタンをクリックします。

[プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。

10. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

11. [弥生シリーズセットアップ]画面に戻るので、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人(平成21年度以降) from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」のインストールは完了です。

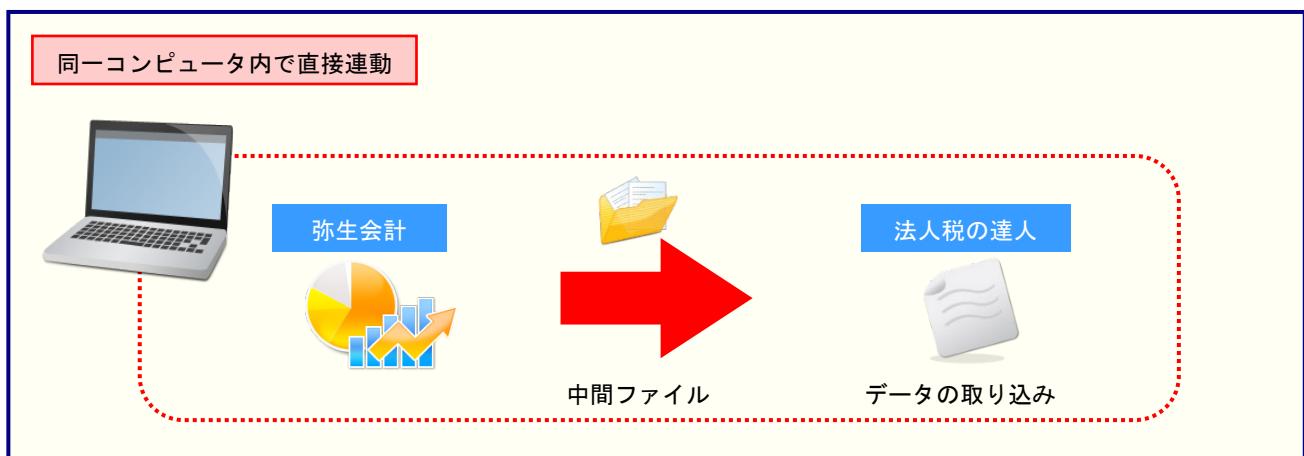
4.運用方法

「法人税の達人（平成21年度以降）from弥生会計（Ver.32.0.1以降）」は、「弥生会計」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「弥生会計」と「法人税の達人」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

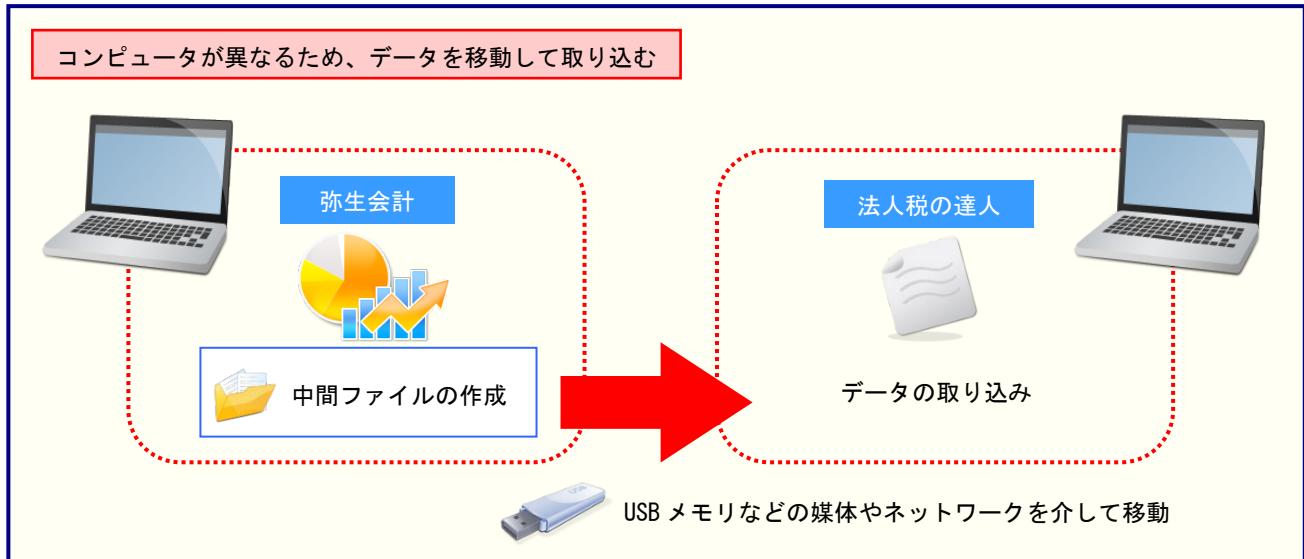
1.「弥生会計」と「法人税の達人」を同一コンピュータにインストールしている場合

「法人税の達人（平成21年度以降）from弥生会計（Ver.32.0.1以降）」で作成した中間ファイルを直接「法人税の達人」に取り込みます。



2.「弥生会計」と「法人税の達人」を別のコンピュータにインストールしている場合

「弥生会計」をインストールしているコンピュータで中間ファイルを作成し、「法人税の達人」をインストールしているコンピュータで取り込みます。

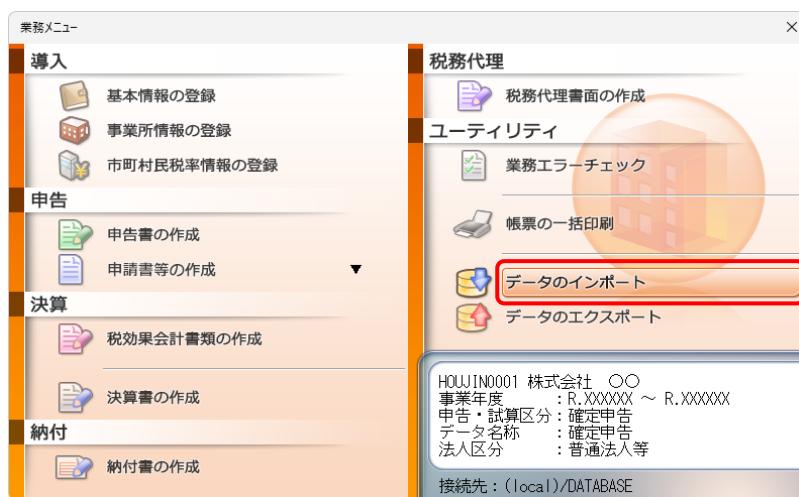


5.操作方法

「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」を使って、以下の手順で連動します。事前に「6.連動対象項目」(P.30)を必ずお読みください。操作手順は、「弥生会計」と「法人税の達人」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

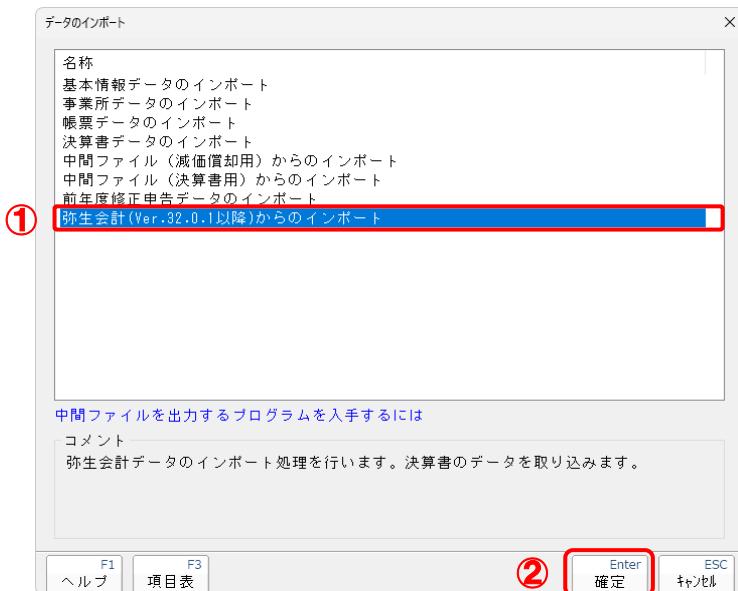
1.「弥生会計」と「法人税の達人」を同一コンピュータにインストールしている場合

- 「法人税の達人」を起動してデータを取り込む事業者データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



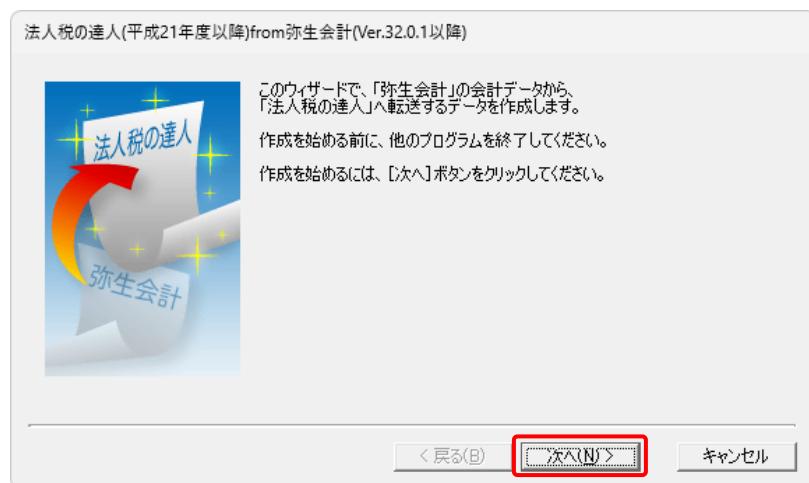
[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [弥生会計(Ver.32.0.1以降)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



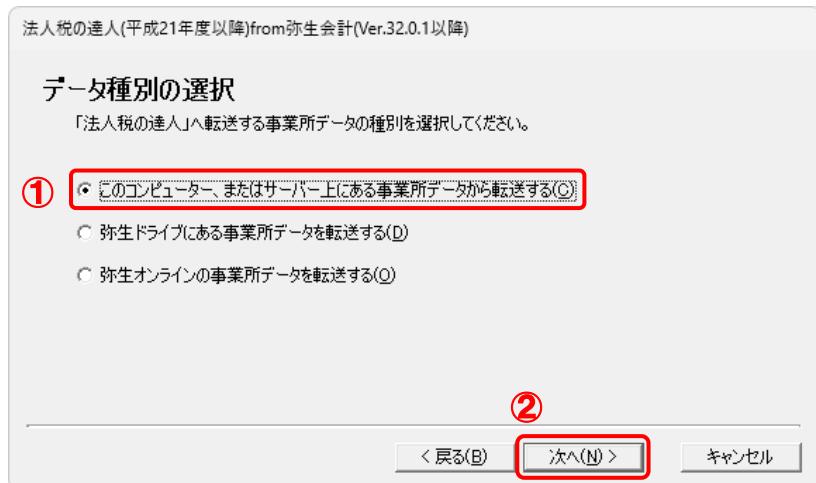
[法人税の達人（平成21年度以降）from 弥生会計（Ver.32.0.1以降）] 画面が表示されます。

3. [次へ]ボタンをクリックします。



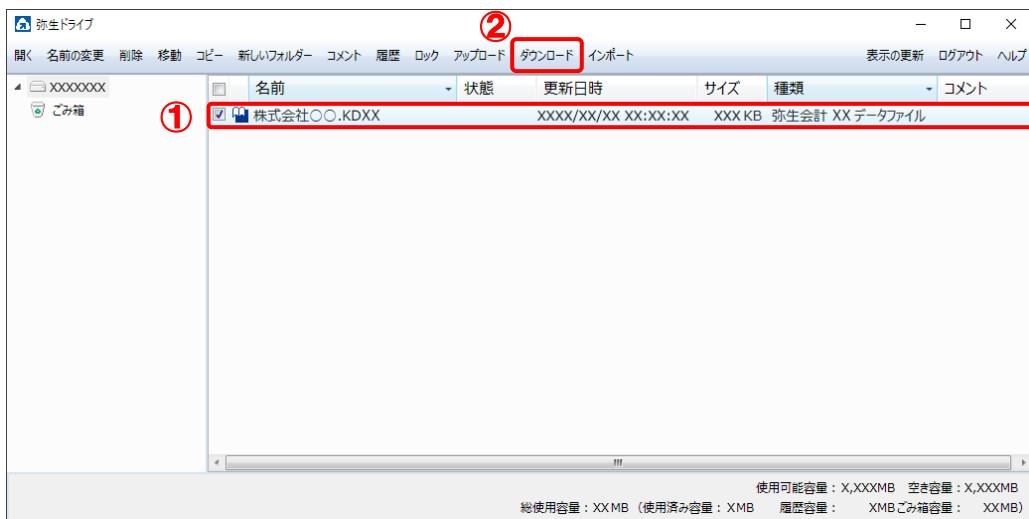
[データ種別の選択] 画面が表示されます。

4. [このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する]を選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



[データの選択] 画面が表示されます。

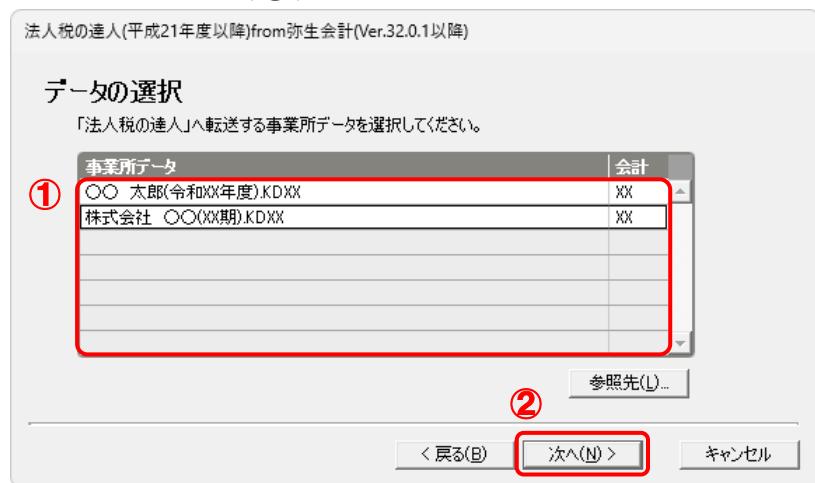
- ※ 弥生会計 26をインストールしている場合、弥生会計 26、弥生会計 25、弥生会計 24、弥生会計 23、弥生会計 22、弥生会計 21、弥生会計 20、弥生会計 19で作成した事業所データを選択できます。
- ※ [弥生オンラインの事業所データを転送する] は、弥生会計 26 AEの場合のみ表示されます。
- ※ 弥生ドライブ上のデータを選択したい場合は、[弥生ドライブにある事業所データを転送する]を選択します。弥生ドライブが起動するので、ファイルを指定したうえで、連動する事業所データをダウンロードしてください。



※ 弥生会計 オンラインのデータを選択したい場合は、[弥生オンラインの事業所データを転送する] を選択します。弥生 マイポータルが起動するので、連動するデータをダウンロードしたうえで、ファイルを指定してください。



5. 「法人税の達人」に取り込む「弥生会計」のデータをクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



[処理年度の選択] 画面が表示されます。

6. 手順5で選択したデータの処理年度をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)

処理年度の選択

「法人税の達人」へ転送する処理年度を選択してください。

決算期	会計期間
第XX期	R.XX/XX/XX～R.XX/XX/XX
第XX期	R.XX/XX/XX～R.XX/XX/XX
第XX期	R.XX/XX/XX～R.XX/XX/XX

①

②

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

[決算の種類の選択] 画面が表示されます。

※ 手順5で選択したデータの会計期間が複数存在しない場合は、手順6の画面は表示されません。手順7に進んでください。

7. 「弥生会計」から出力するデータの決算対象となる期間を選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)

決算の種類の選択

「法人税の達人」へ転送する決算対象となる期間を選択してください。

①

本決算(H)
 中間決算(上半期決算)(C)
 月次決算(G)

期間(O) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決

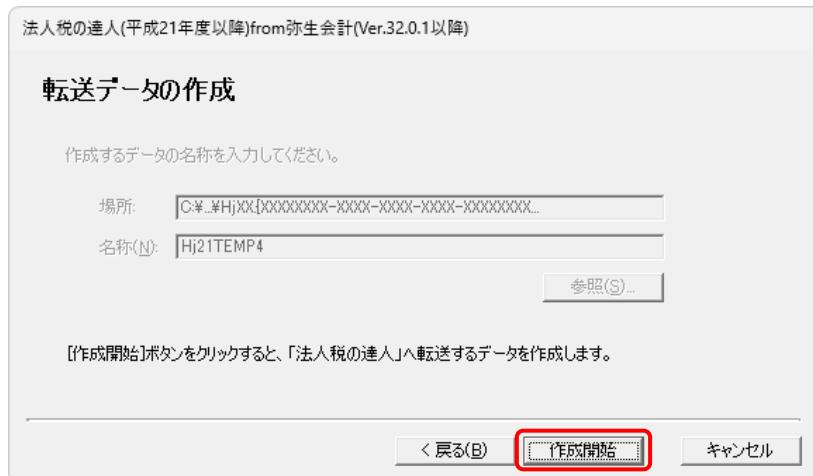
②

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

[転送データの作成] 画面が表示されます。

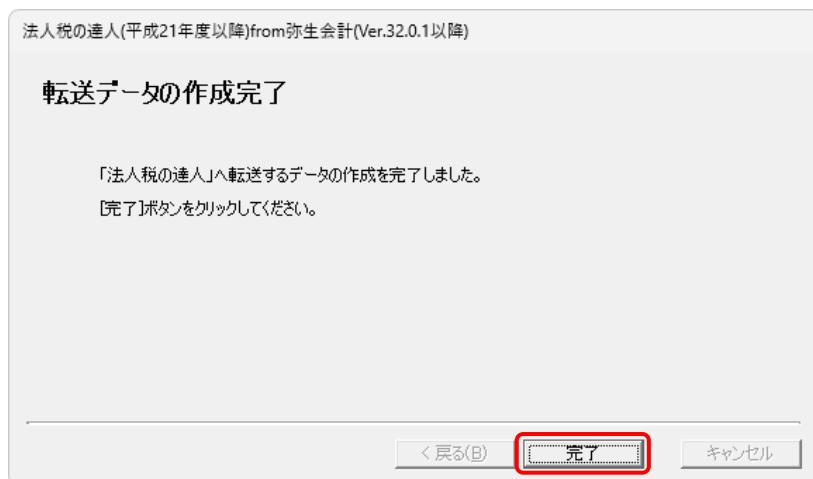
※ 画面は [本決算] を選択しています。

8. [作成開始]ボタンをクリックします。



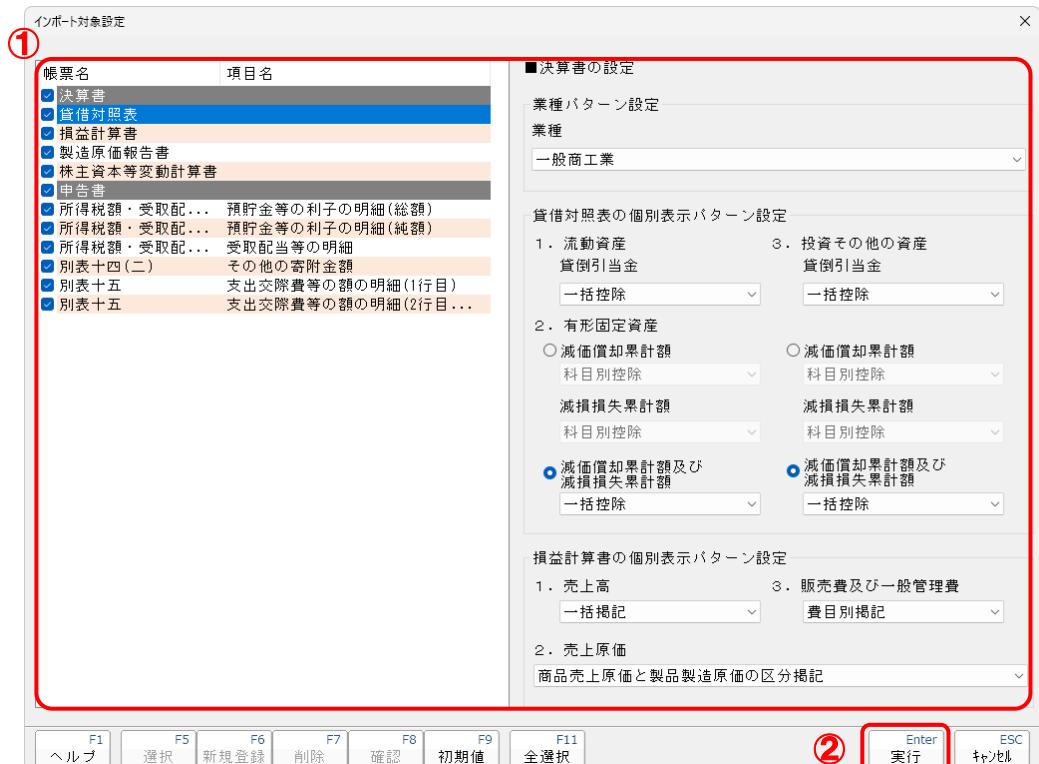
[転送データの作成完了] 画面が表示されます。

9. [完了]ボタンをクリックします。



[インポート対象設定] 画面が表示されます。

10. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。



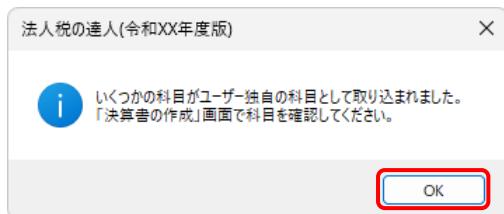
インポートの確認メッセージが表示されます。

11. [OK]ボタンをクリックします。



取り込みの確認メッセージが表示されます。

12. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成（中間ファイルの作成）が終了すると同時に、「法人税の達人」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



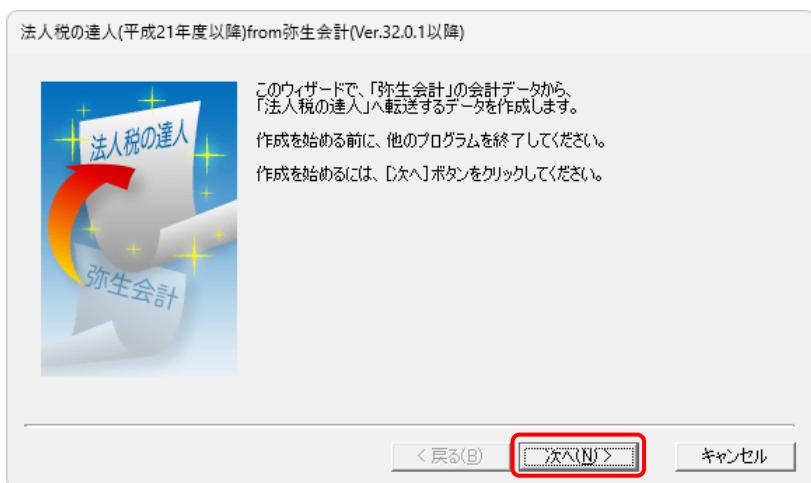
注意

連動後には、「法人税の達人」側で科目の取り込み設定を行う必要があります。操作手順については『[法人税の達人 運用ガイド](#)』－「帳票の作成」－「決算書の作成」－「科目の取込設定を行う」をご確認ください。

2.「弥生会計」と「法人税の達人」を別のコンピュータにインストールしている場合

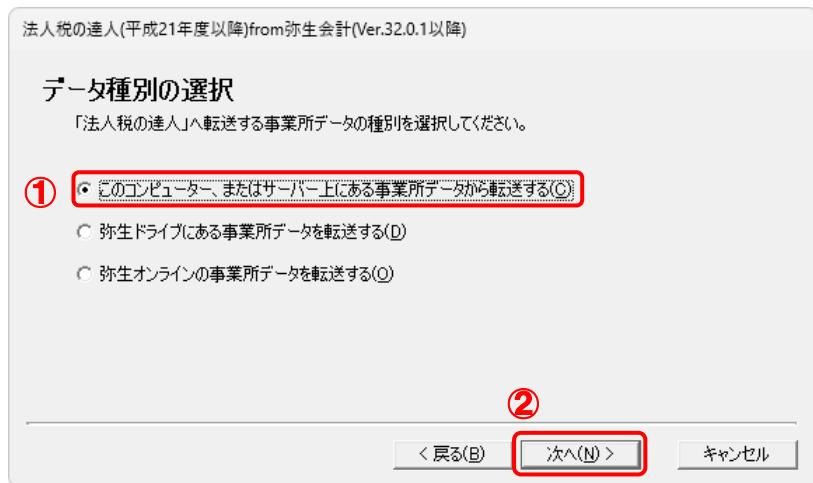
1. Windowsのスタートメニュー右横の検索ボックスに、「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」と入力して表示される検索結果から、[法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)]をクリックします。
[法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)] 画面が表示されます。

2. [次へ]ボタンをクリックします。



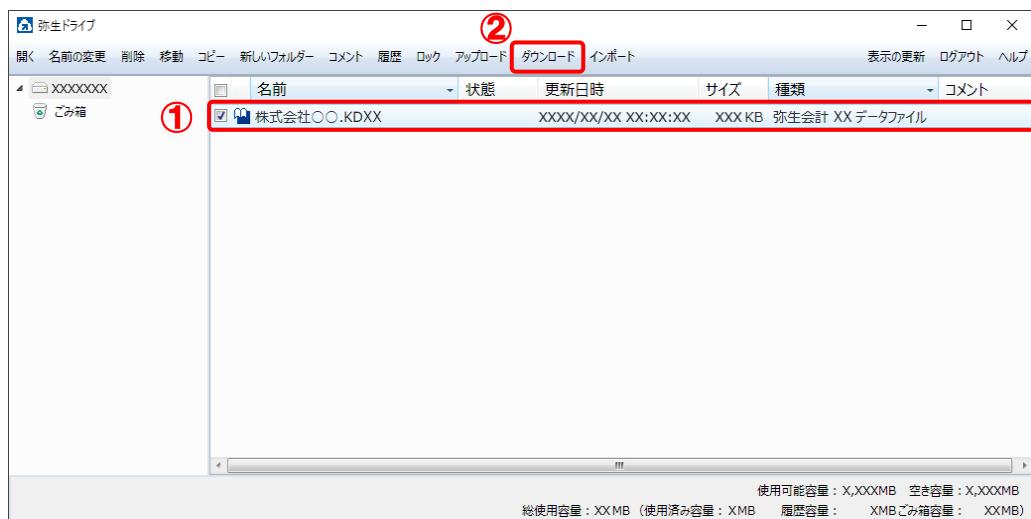
[データ種別の選択] 画面が表示されます。

3. [このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する]を選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



[データの選択] 画面が表示されます。

- ※ 弥生会計 26をインストールしている場合、弥生会計 26、弥生会計 25、弥生会計 24、弥生会計 23、弥生会計 22、弥生会計 21、弥生会計 20、弥生会計 19で作成した事業所データを選択できます。
- ※ [弥生オンラインの事業所データを転送する] は、弥生会計 26 AEの場合のみ表示されます。
- ※ 弥生ドライブ上のデータを選択したい場合は、[弥生ドライブにある事業所データを転送する] を選択します。弥生ドライブが起動するので、ファイルを指定したうえで、連動する事業所データをダウンロードしてください。



※ 弥生会計 オンラインのデータを選択したい場合は、[弥生オンラインの事業所データを転送する] を選択します。弥生 マイポータルが起動するので、連動するデータをダウンロードしたうえで、ファイルを指定してください。



4. 「法人税の達人」に取り込む「弥生会計」のデータをクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



[処理年度の選択] 画面が表示されます。

5. 手順4で選択したデータの処理年度をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)

処理年度の選択

「法人税の達人」へ転送する処理年度を選択してください。

処理年度の選択	会計期間
① 第XX期	R.XX/XX/XX～R.XX/XX/XX
第XX期	R.XX/XX/XX～R.XX/XX/XX
第XX期	R.XX/XX/XX～R.XX/XX/XX

②

次へ(N) > キャンセル

[決算の種類の選択] 画面が表示されます。

※ 手順4で選択したデータの会計期間が複数存在しない場合は、手順5の画面は表示されません。手順6に進んでください。

6. 「弥生会計」から出力するデータの決算対象となる期間を選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)

決算の種類の選択

「法人税の達人」へ転送する決算対象となる期間を選択してください。

① 本決算(H)
 中間決算(上半期決算)(C)
 月次決算(G)

期間(O) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決

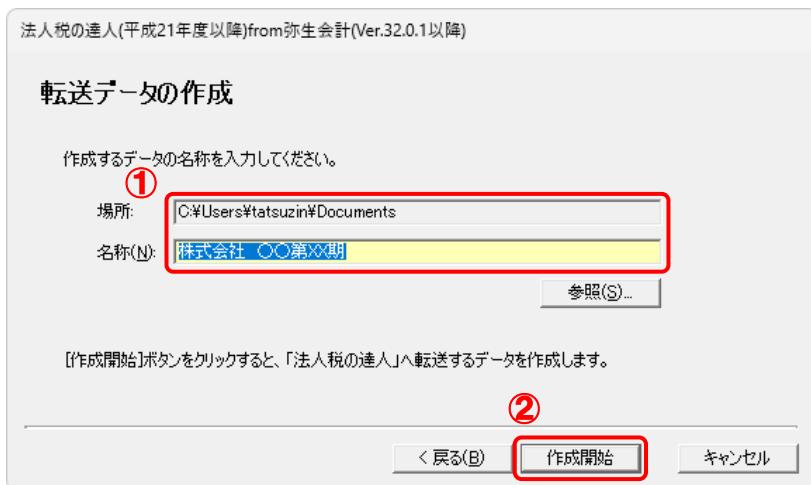
②

次へ(N) > キャンセル

[転送データの作成] 画面が表示されます。

※ 画面は [本決算] を選択しています。

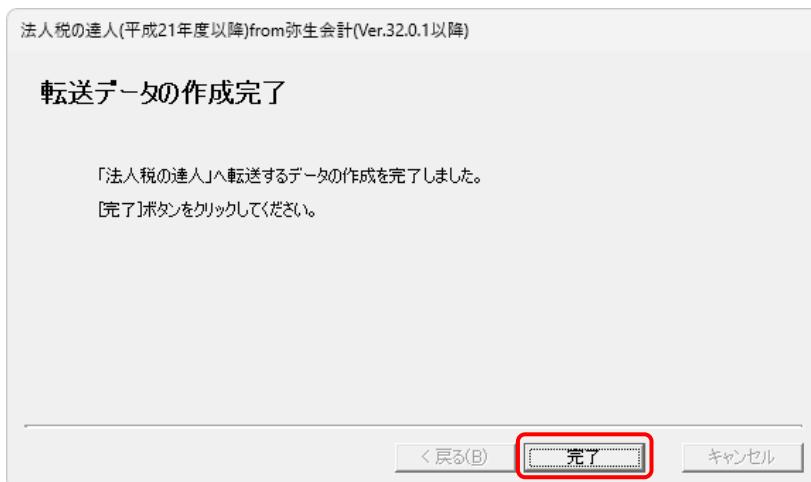
7. [場所]及び[名称]を確認し(①)、[作成開始]ボタンをクリックします(②)。



[転送データの作成完了] 画面が表示されます。

※ [場所] の初期値は [C:\Users\ (ユーザー名)\Documents] です。[参照] ボタンをクリックして表示される画面から変更できます。

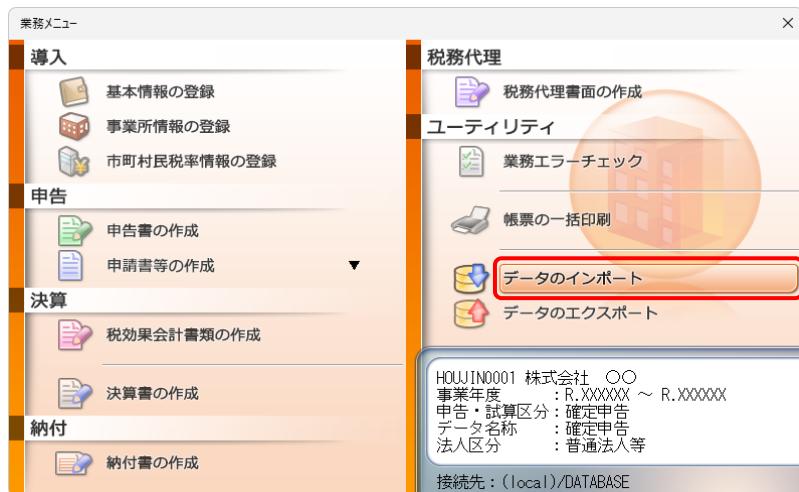
8. [完了]ボタンをクリックします。



手順 7 で指定した [場所] に、中間ファイルが作成されます。

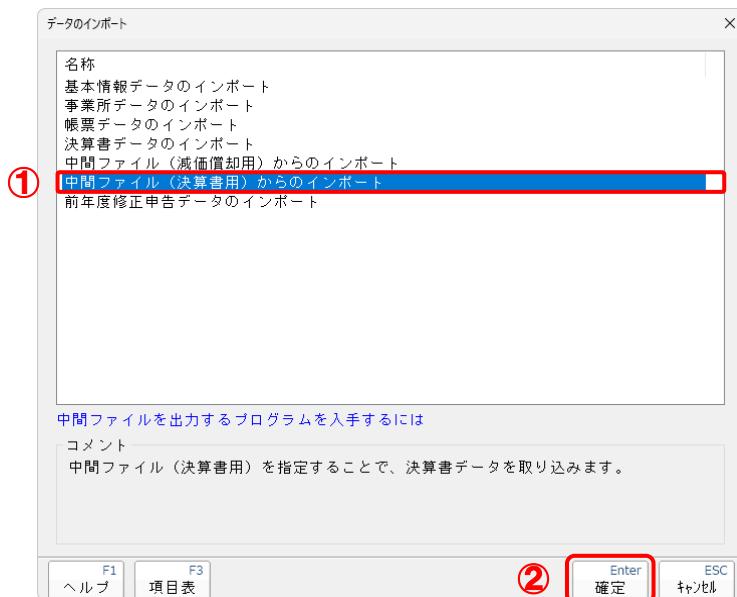
9. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「法人税の達人」をインストールしているコンピュータに移動します。

10. 「法人税の達人」を起動して中間ファイルを取り込む事業者データを選択し、業務メニュー-[データのインポート]をクリックします。



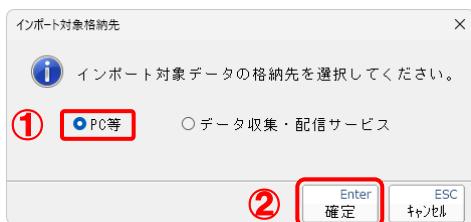
[データのインポート] 画面が表示されます。

11. [中間ファイル(決算書用)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。

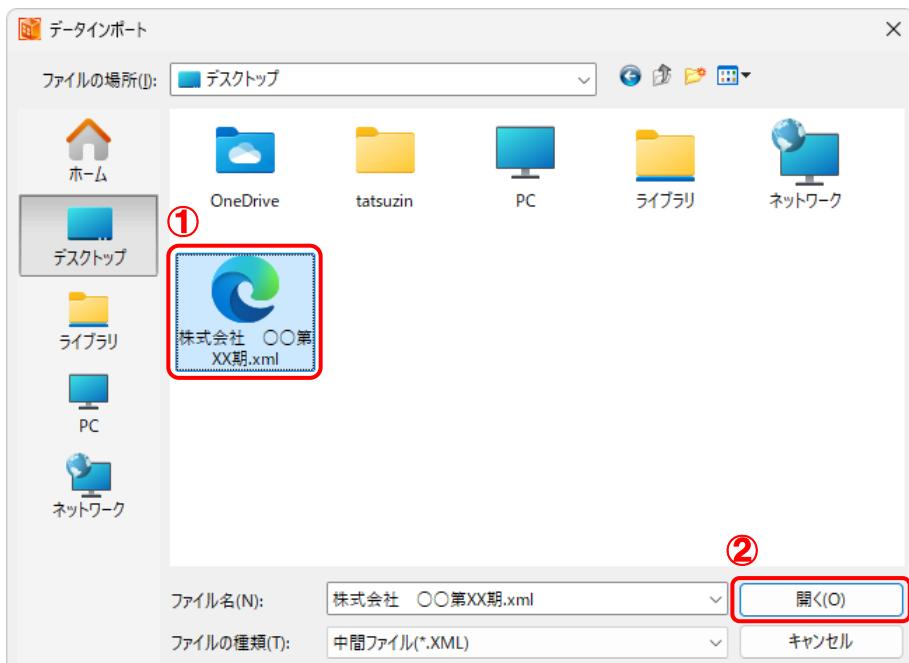


[データインポート] 画面が表示されます。

※ [インポート対象格納先] 画面は、達人Cube「データ収集・配信」ご契約の方のみ表示されます。[PC等] を選択し (①)、[確定] ボタンをクリック (②) します。

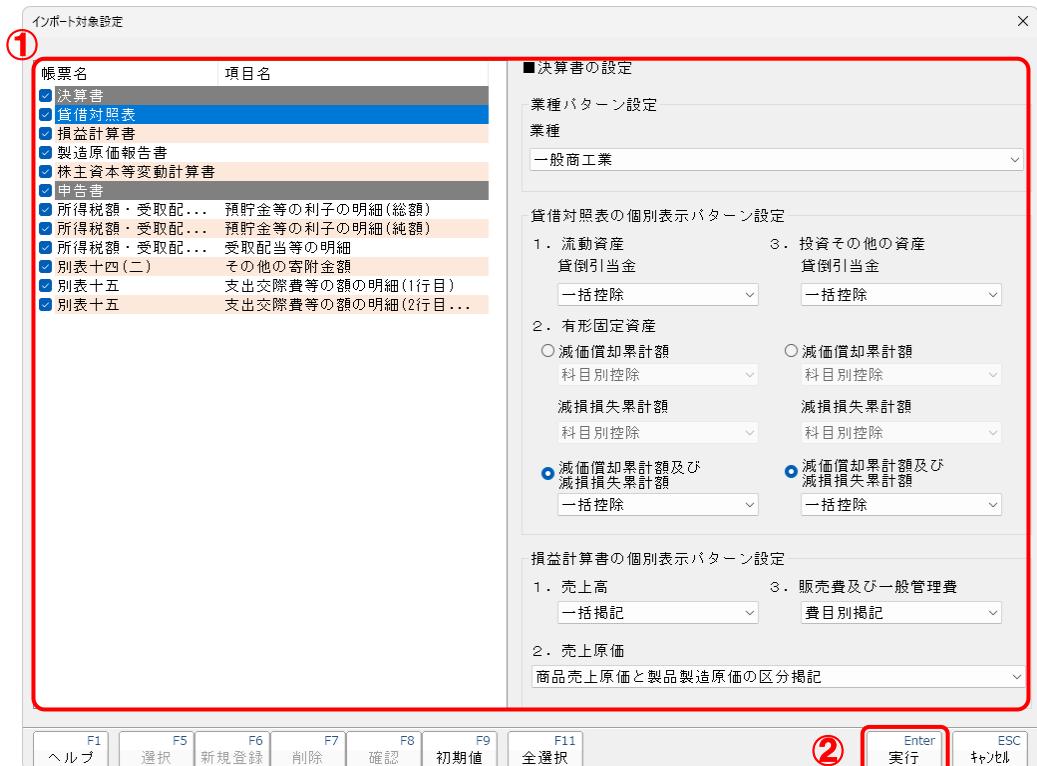


12. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



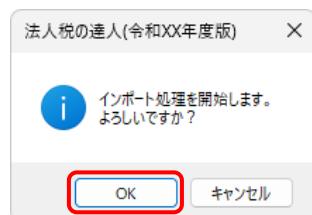
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

13. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。



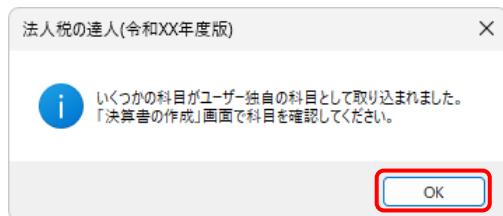
インポートの確認メッセージが表示されます。

14. [OK]ボタンをクリックします。



取り込みの確認メッセージが表示されます。

15. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「法人税の達人」側で科目の取り込み設定を行う必要があります。操作手順については
[『法人税の達人 運用ガイド』](#) – 「帳票の作成」 – 「決算書の作成」 – 「科目の取込設定を行う」を
ご確認ください。

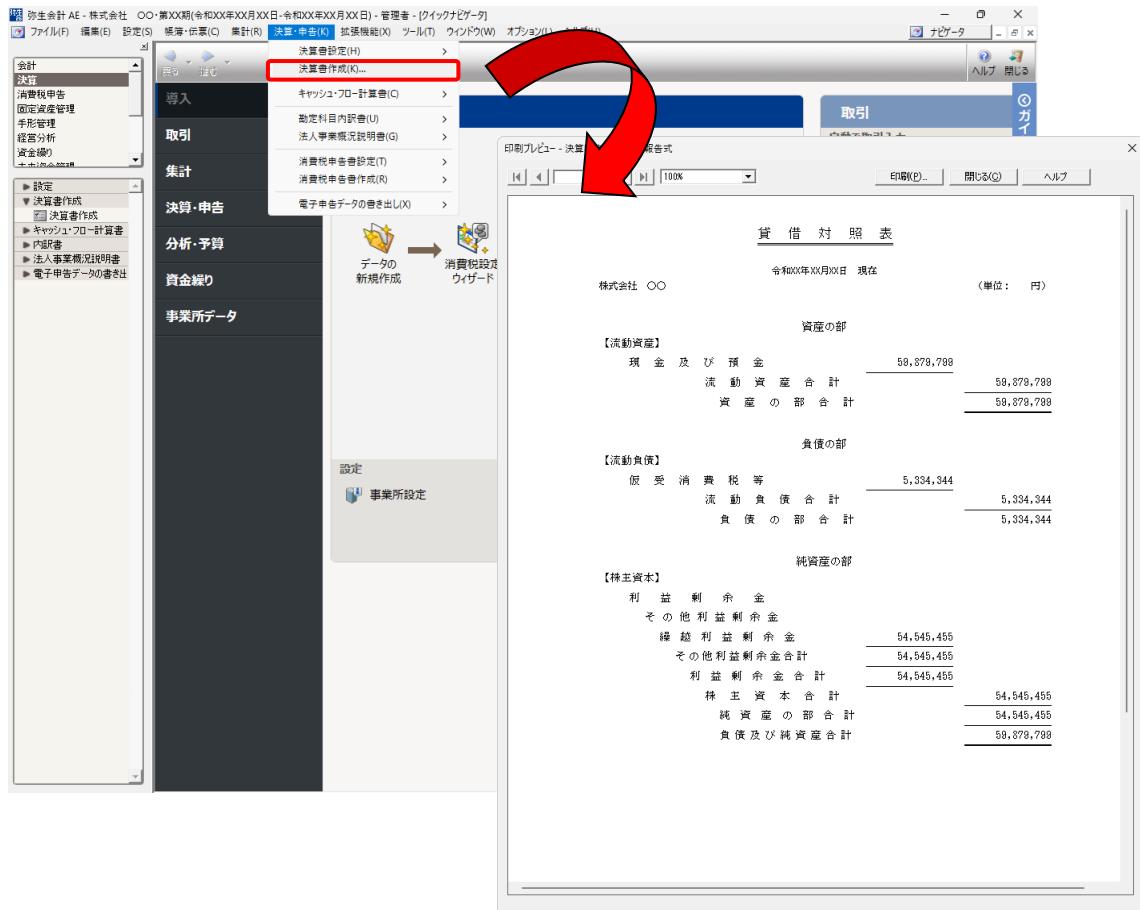
6.連動対象項目

「法人税の達人(平成21年度以降) from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」では、「弥生会計」の決算書よりデータを取り込みます。

「弥生会計」から連動するデータ(連動元)

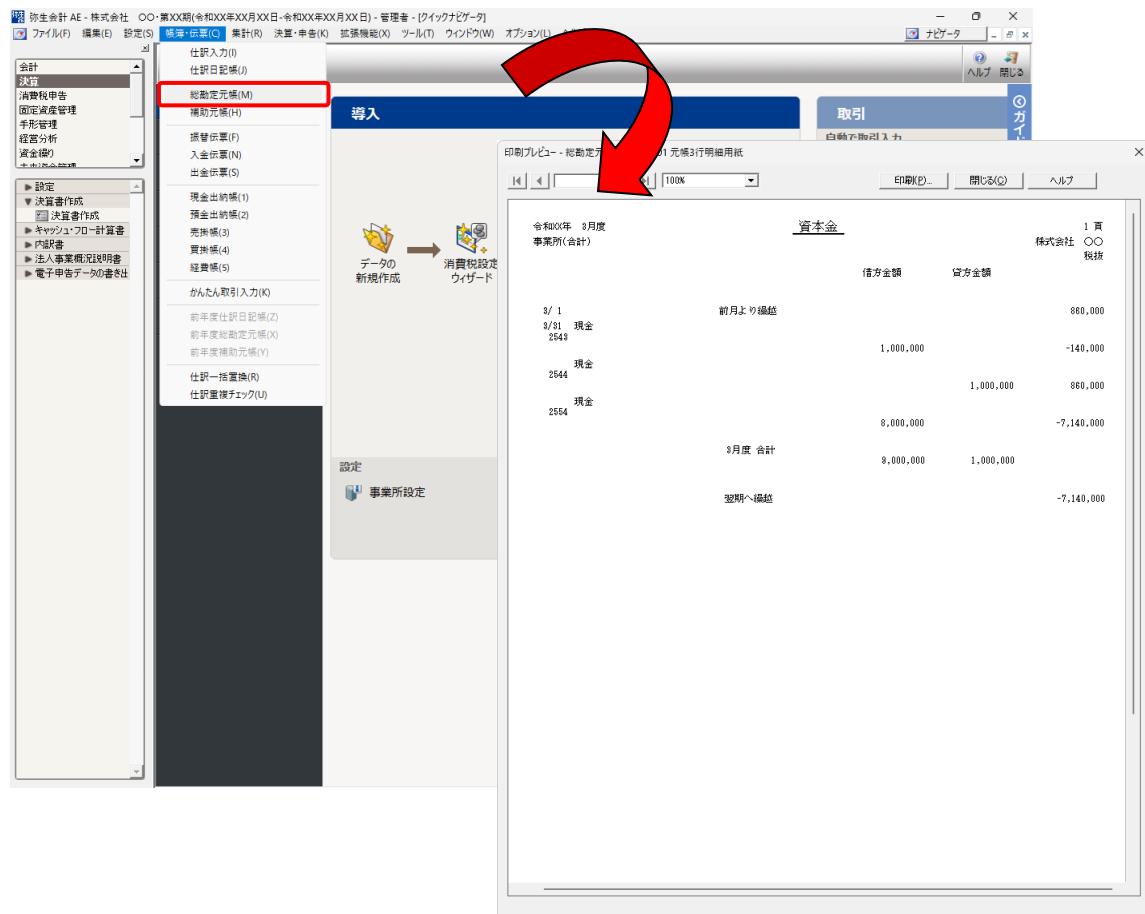
〔決算書作成〕画面

「弥生会計」からはメニューバー [決算・申告] - [決算書作成] の決算書のデータが連動します。



〔総勘定元帳〕画面

- ・メニューバー [帳簿・伝票] - [総勘定元帳] の帳簿データが連動します。



「法人税の達人」に連動するデータ(連動先)

「法人税の達人」に連動するデータは以下のとおりです。次ページ以降の各画面の太枠部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表
損益計算書
製造原価報告書
株主資本等変動計算書
社員資本等変動計算書



注意

次のような制限事項がありますので、転送するデータを作成する前に必ず確認してください。

- 個別注記表について
「弥生会計」で作成した注記表は、「法人税の達人」には取り込まれません。
- 【】や（）について
「弥生会計」の決算書項目の【】や（）は転送データ作成時に取り除かれます。
- 製造原価報告書の「他勘定振替高」について
「法人税の達人」では、「他勘定振替高」は「期末仕掛品棚卸」区分で処理されます。
- 「繰越利益」の金額について
通常、「弥生会計」の決算書の金額を「法人税の達人」に転送（出力）します。ただし、「繰越利益」の金額は、決算書の金額ではなく、勘定科目の「繰越利益」の残高を転送（出力）します。そのため、「弥生会計」の決算書に表示される「繰越利益剰余金」の金額と異なる場合があります。
- 株主資本等変動計算書の勘定科目について
貸借対照表の以下の決算書項目区分に属する勘定科目については、「法人税の達人」には出力されません。
「新株式申込証拠金」「自己株式申込証拠金」
貸借対照表の「任意積立金」区分に追加されている決算書項目で、「法人税の達人」の勘定科目と一致しないものについては、「法人税の達人」には出力されません。
- 株主資本等変動計算書の変動事由について
「法人税の達人」に値を取り込むことができる変動事由は、「弥生会計」で初期提供している項目、または、「法人税の達人」で初期提供されている変動事由と名称が一致する項目です。ただし、「弥生会計」で初期提供している変動項目のうち、「剰余金からの振替」については、「法人税の達人」には出力されません。「法人税の達人」側で変動事由を選択し、金額を入力してください。

また、「企業結合による増加」「資本金からの振替」「準備金からの振替」は、以下のように「法人税の達人」の変動項目が割り当てられインポートされます。

【「弥生会計」での変動事由】

- ・企業結合による増加
- ・資本金からの振替
- ・準備金からの振替

【「法人税の達人」側での変動事由】

- 合併による増加
- 資本金から剰余金への振替
- 準備金から剰余金への振替

他の変動事由を割り当てたい場合は、「法人税の達人」で設定を変更してください。

なお、「法人税の達人」では勘定科目に対して設定できる変動事由が固定されています。

「弥生会計」で作成した株主資本等変動計算書のデータを「法人税の達人」に取り込むと、勘定科目と変動事由の組み合わせによっては、取り込まれない変動事由が出てくる場合があります。

- ・「新株予約権」区分に勘定科目が複数存在する場合

[科目設定] の貸借科目で「純資産の部」の「新株予約権」区分に勘定科目が複数存在する場合、1番目の勘定科目のみが明細に出力され、2番目以降の勘定科目は明細に出力されません。ただし、「前期末金額」「変動金額」「当期末金額」の合計値にはすべての勘定科目の金額が出力されるため、「純資産の部」の合計金額と明細金額の合計が異なる場合があります。

- ・社員資本等変動計算書について

「弥生会計」での科目提供等はありません。

申告書

入力用帳票 [六(一)・八(一)]

別表十四(二)

別表十五



注意

「弥生会計」で作成した「総勘定元帳」の内容が連動されます。



参考

インポート・エクスポート可能な項目の詳細については以下をご確認ください。

[参照] https://www.tatsuzin.info/products_hj/

「インポート機能で帳票の作成にかかる時間を削減」

貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

▲ ▼

科目	金額	加算減算	e-Taxで使用する科目
資産の部			資産の部
流動資産			流動資産
固定資産			固定資産
有形固定資産			有形固定資産
無形固定資産			無形固定資産
投資その他の資産			投資その他の資産
繰延資産			繰延資産
負債の部			負債の部
流動負債			流動負債
固定負債			固定負債
純資産の部			純資産の部

ユーザーが独自に追加した科目等
 ユーザーが独自に追加した科目のみ表示する

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 フィルタ
F4 利益処分
F5 全計算
F6 科目追加
F7 科目削除
F8 割当削除
F9 印刷
F11 割当設定
F12 漢字

Enter 選択

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

科目	金額	加算減算	e-Taxで使用する科目
営業活動による収益			営業活動による収益
売上高			売上高
営業活動による費用・売上原価			営業活動による費用・売上原価
売上総利益又は売上総損失(△)			売上総利益又は売上総損失...
販売費及び一般管理費			販売費及び一般管理費
営業利益又は営業損失(△)			営業利益又は営業損失(△)
営業外収益			営業外収益
営業外費用			営業外費用
経常利益又は経常損失(△)			経常利益又は経常損失(△)
特別利益			特別利益
特別損失			特別損失
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)			税引前当期純利益又は税引...
法人税等			法人税等
当期純利益又は当期純損失(△)			当期純利益又は当期純損失...

ユーザーが独自に追加した科目等
 ユーザーが独自に追加した科目のみ表示する

Enter
選択

X
 F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 フィルタ
 F4 利益処分
 F5 全計算
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 割当削除
 F9 印刷
 F11 割当設定
 F12 漢字

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

科目	金額	加算減算	e-Taxで使用する科目
仕入原価			仕入原価
材料費			材料費
労務費			労務費
燃料油脂費			燃料油脂費
修繕費			修繕費
外注費			外注費
経費			経費
当期製造費用			当期製造費用
期首仕掛品たな卸高			期首仕掛品たな卸高
他勘定受入高			他勘定受入高
合計			合計
期末仕掛品たな卸高			期末仕掛品たな卸高
他勘定振替高			他勘定振替高
当期製品製造原価			当期製品製造原価

□ : ユーザーが独自に追加した科目等
 ユーザーが独自に追加した科目のみ表示する

Enter
選択

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 フィルタ
 F4 利益処分
 F5 全計算
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 割当削除
 F9 印刷
 F11 割当設定
 F12 漢字

株主資本等変動計算書等

□ 株主資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

科目	金額	e-Taxで使用する科目
株主資本		株主資本
資本金		資本金
資本剰余金		資本剰余金
利益剰余金		利益剰余金
自己株式		自己株式
株主資本合計		株主資本合計
評価・換算差額等		評価・換算差額等
新株予約権		新株予約権
非支配株主持分		非支配株主持分
純資産合計		純資産合計

ユーザーが独自に追加した科目等
 ユーザーが独自に追加した科目のみ表示する

Enter 選択

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 フィルタ
F4 利益処分
F5 全計算
F6 科目追加
F7 科目削除
F8 割当削除
F9 印刷
F11 割当設定
F12 漢字

□ 社員資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 社員資本等変動計算書 個別注記表

▲ ▼

科目	金額	e-Taxで使用する科目
社員資本		社員資本
資本金		資本金
資本剰余金		資本剰余金
利益剰余金		利益剰余金
社員資本合計		社員資本合計
評価・換算差額等		評価・換算差額等
非支配株主持分		非支配株主持分
純資産合計		純資産合計

: ユーザーが独自に追加した科目等
 ユーザーが独自に追加した科目のみ表示する

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 フィルタ
F4 利益処分
F5 全計算
F6 科目追加
F7 科目削除
F8 割当削除
F9 印刷
F11 割当設定
F12 漢字

Enter 選択

【入力用帳票[六(一)・八(一)]】

所得税額・受取配当等計算シート

事業 年度	：	：	法人名	
----------	---	---	-----	--

1. 預貯金等の利子

銀 行 名 1	：	：	：	：	：	：	：
支 払 い を 受 け た 年 月 日 2	：	：	：	：	：	：	：
手 取 額 3	：	円	円	円	円	円	円
税 率 4	：	%	%	%	%	%	%
所 得 税 額 5	：	円	円	円	円	円	円
收 入 金 額 6	：	円	円	円	円	円	円

2. 受取配当等

所 得 税 控 除 計 算 区 分	剩 余 金 の 配 当		集 团 投 資 信 托 の 収 益 の 分 配	割 引 債 の 償 還 差 益
	利 益 の 配 当 及 び 剩 余 金 の 分 配	7		
計 算 期 間 【 1 年 超 】	個 別 法		個 別 法	個 別 法
計 算 期 間 【 1 年 以 内 】	個 別 法		個 別 法	個 別 法
別表六(一)控除を受ける所得税額				

受 取 配 当 等 の 明 紹

法 人 名 又 は 銘 柏 10	：	：	：	：	：	：	：
支 払 い を 受 け た 年 月 日 11	：	：	：	：	：	：	：
株 式 等 区 分 12							
所 得 税 額 控 除 区 分 13							
本 店 の 所 在 地 14							
基 準 日 15	：	月	：	月	：	月	：
計 算 期 間 の 月 数 16	：	月	：	月	：	月	：
配 当 等 の 計 算 期 間 17	：	：	：	：	：	：	：
保 有 額 合 18							
受 取 額 19	：	円	：	円	：	円	：
税 率 20	：	%	：	%	：	%	：
所 得 税 額 21	：	円	：	円	：	円	：
收 入 金 額 22	：	円	：	円	：	円	：
元 本 金 23							
配 当 等 の 計 算 期 末 24							
益 金 算 入 の 対 象 と な る 金 額 の 計 算 25							
配 当 等 の 計 算 期 間 の 期 末 26							
配 当 等 の 計 算 期 間 の 期 末 27							
配 当 等 の 計 算 期 間 の 期 末 28							
(22)のうち益金算入される金額 29	：	円	：	円	：	円	：
(22)のうち益金算入される金額 30	：	円	：	円	：	円	：

所 得 税 額 控 除 の 個 別 法 に よ る 場 合 の 計 算

所 有 期 間 の 具 有 の 月 数 ご と の 期 末 31	：	：	：	：	：	：
所 有 期 間 の 月 数 32	：	月	：	月	：	月
收 入 金 額 33	：	円	：	円	：	円
所 得 税 額 34	：	円	：	円	：	円

別表十四(二)

別表十五

7.アンインストール方法

「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に【ユーザー アカウント制御】画面が表示されることがあります。その場合は【はい】ボタンをクリックして作業を進めてください(必要に応じてパスワードを入力します)。

1. Windows のスタートメニュー右横の検索ボックスに、「コントロールパネル」と入力して表示される検索結果から【コントロールパネル】をクリックします。
【コントロールパネル】画面が表示されます。
2. 【プログラムのアンインストール】をクリックします。
【プログラムのアンインストールまたは変更】画面が表示されます。
※ 【コントロールパネル】画面をアイコン表示にしている場合は、【プログラムと機能】をクリックします。
3. 【法人税の達人(平成 21 年度以降)from 弥生会計(Ver.32.0.1 以降)】をクリックして選択し、【変更】をクリックします。
【InstallShield Wizard】画面が表示されます。
4. 【次へ】ボタンをクリックします。
【プログラムの保守】画面が表示されます。
5. 【削除】を選択した状態で【次へ】ボタンをクリックします。
【プログラムの削除】画面が表示されます。
6. 【削除】ボタンをクリックします。
アンインストールが開始されます。
7. 完了画面が表示されたら、【完了】ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人(平成21年度以降)from弥生会計(Ver.32.0.1以降)」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

『弥生』は弥生株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Server、Outlook、Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe Reader、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載された会社名および製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

本文中、®マークは明記しておりません。

**法人税の達人(平成21年度以降)
from弥生会計(Ver.32.0.1以降) 運用ガイド**

2025年11月6日初版
